

若年層の自殺の状況について 平成30年～令和4年までの直近5年間の状況

資料1-4

厚生労働省提供 自殺統計原票データ（特別集計・発見日住居地）より大阪府が作成

※令和4年1月に自殺統計原票が見直され、原因・動機の既存項目の選択肢が拡充。また、令和3年までは、遺言等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に限り、自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能とした。交際問題（男女問題）について、令和3年までは「男女問題」、令和4年からは「交際問題」で計上している。

※斜め罫線箇所については、少数のため非表示としています。

●自殺の原因動機（大分類）

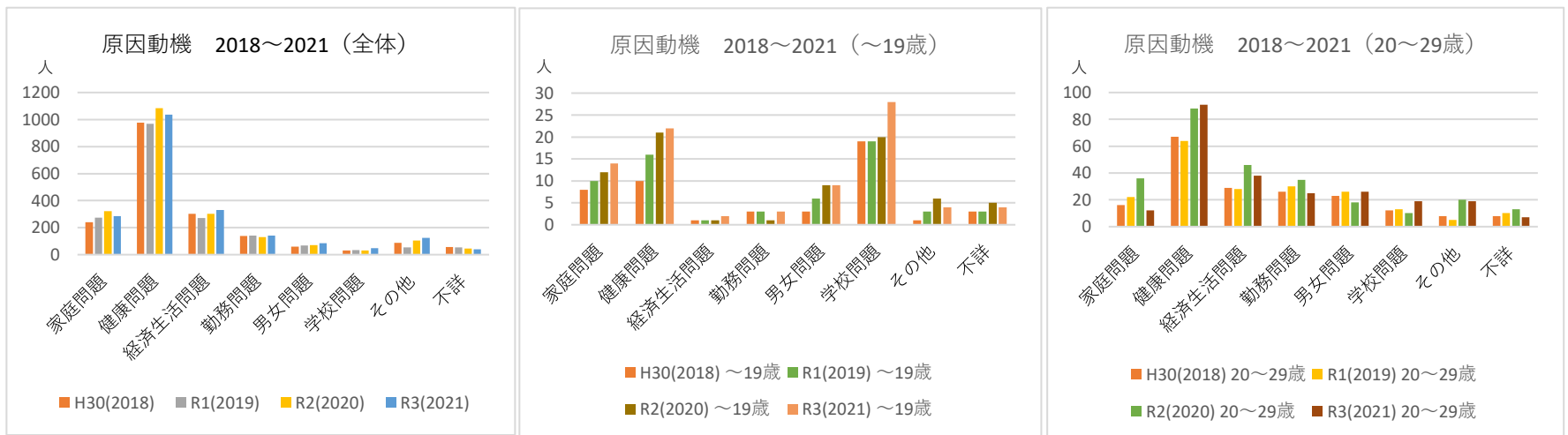
- ・全世代は、平成30年からの4年間合計及び令和4年とも、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題の順となっている。
- ・～19歳は、平成30年から4年間合計及び令和4年とも、学校問題が最も多く、次いで健康問題、家庭問題の順となっている。また、家庭問題、健康問題は年々増加、学校問題は令和3年増加している。
- ・20～29歳は、平成30年からの4年間合計では、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、勤務問題の順となっており、令和4年は、健康問題に次いで、交際問題となっている。

自殺の原因・動機（H30～R3 4年間合計）

	～19歳	20～29歳	全世代
家庭問題	44	86	1119
健康問題	69	310	4065
経済・生活問題	5	141	1208
勤務問題	10	116	552
男女問題	27	93	282
学校問題	86	54	142
その他	14	52	368
不詳	15	38	197

自殺の原因・動機（R4年）

	～19歳	20～29歳	全世代
家庭問題	19	28	384
健康問題	24	87	1168
経済・生活問題	5	32	408
勤務問題	3	37	199
交際問題	10	42	105
学校問題	26	18	44
その他	8	19	123
不詳	5	8	49



●自殺の原因・動機（詳細）

大分類で上位の項目である、「健康問題」、「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「学校問題」について詳細を確認した。

①健康問題〔全世代（1位）、～19歳（2位）、20～29歳（1位）※（）H30年～R3年合計順位〕

- ・全世代は、うつ病の悩みが最も多く、次いで身体の病気の悩みとなっており、令和4年もうつ病の悩みが最も多い。
- ・～19歳は、その他の精神疾患の悩みが最も多く、次いでうつ病の悩みとなっており、令和4年もその他の精神疾患の悩みが最も多い。
- ・20～29歳は、うつ病の悩みが最も多く、次いでその他の精神疾患の悩みとなっており、令和4年もうつ病の悩みが最も多い。

	H30年～R3年合計			R4年		
	～19歳	20～29歳	全世代	～19歳	20～29歳	全世代
病気の悩み（身体の病気）	5	18	1206	0	0	67
病気の悩み・影響（うつ病）	22	142	1618	8	40	408
病気の悩み・影響（統合失調症）	5	44	390	0	10	100
病気の悩み・影響（アルコール依存症）	0	4	88	0	0	45
病気の悩み・影響（薬物乱用）		4	27	0	0	10
病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	25	81	517	14	21	190
身体障害の悩み	3		108	0	0	42
認知機能低下の悩み				0	0	31
その他	8	16	111	0	4	29

②家庭問題〔全世代（3位）、～19歳（3位）、20～29歳（5位）※（）H30年～R3年合計順位〕

- ・全世代は、夫婦関係の不和が最も多く、次いで家族の将来悲観となっており、令和4年は、夫婦関係の不和（その他の原因）が多い。
- ・～19歳は、親子関係の不和が最も多く、次に家族からのしつけ・叱責となっており、令和4年もこの2項目が多い。
- ・20～29歳は、親子関係の不和が最も多く、次に夫婦関係の不和となっており、令和4年も親子関係の不和が多い。

	H30年～R3年合計			R4年			
	～19歳	20～29歳	全世代	～19歳	20～29歳	全世代	
親子関係の不和	16	25	154	親子関係の不和	7	7	54
夫婦関係の不和	0	12	273	夫婦関係の不和（DV）	0	0	8
				夫婦関係の不和（不倫・浮気）	0	3	18
その他家族関係の不和	6	8	83	夫婦関係の不和（その他の原因）	0		67
家族の死亡		7	159	その他家族関係の不和			31
家族の将来悲観		9	180	家族の死亡	0		51
家族からのしつけ・叱責	10	8	33	家族の将来悲観	0	3	45
子育ての悩み	0	8	49	家族からのしつけ・叱責	7	6	20
被虐待	0			子育ての悩み	0		24
				家族・同居人からの身体的虐待	0	0	0
介護看護・疲れ	0		78	家族・同居人からの心理的虐待	0	0	
その他	9	7	109	家族・同居人からの性的虐待	0	0	0
				家族・同居人からのネグレクト	0	0	0
				介護・看病疲れ	0	0	34
				その他	4		30

③経済・生活問題〔全世代（2位）、20～29歳（2位）※（）H30年～R3年合計順位〕

- ・全世代では、生活苦が最も多く、次いで負債（その他）となっており、令和4年も生活苦が最も多い。
- ・20～29歳では、負債（その他）が最も多く、次いで生活苦となっており、令和4年は生活苦が最も多い。

	H30年～R3年合計		R4年		
	20～29歳	全世代	20～29歳	全世代	
倒産	0	4	倒産	0	3
事業不振		118	事業不振	0	47
失業	8	100	失業	4	36
就職失敗	17	48	就職失敗	4	20
生活苦	35	441	生活苦	10	141
負債（多重債務）	24	163	負債（多重債務）	4	53
負債（連帯保証債務）	0	5	負債（連帯保証債務）	0	
			負債（ギャンブル他）	4	26
負債（その他）	37	223	負債（その他）	4	48
借金の取り立て苦	0	10	借金の取り立て苦	0	5
			奨学金の返済苦	0	0
自殺による保険金支給	0	8	自殺による保険金支給	0	3
その他	18	88	その他		25

④勤務問題〔全世代（4位）、20～29歳（3位）※（）H30年～R3年合計順位〕

- ・全世代では、仕事疲れが最も多く、次いで職場の人間関係となっており、令和4年は仕事疲れ（その他）が最も多い。
- ・20～29歳では、仕事疲れと職場の人間関係が最も多く、令和4年は仕事疲れ（その他）が最も多い。

	H30年～R3年合計		R4年		
	20～29歳	全世代	20～29歳	全世代	
職場の人間関係	35	150	職場の人間関係（上司とのトラブル）	3	16
			職場の人間関係（その他）	5	36
職場環境の変化	12	58	職場環境の変化（役割・地位の変化等）	5	21
			職場環境の変化（その他）		17
仕事疲れ	35	168	仕事疲れ（長時間労働）	4	6
			仕事疲れ（その他）	6	44
仕事の失敗	15	85	仕事の失敗	3	20
			過重なノルマ・ノルマの不達成	0	
			解雇・雇い止め	3	8
			取引先とのトラブル		6
			性別による差別	0	0
その他	19	91	勤務問題その他	5	23

④学校問題〔～19歳（1位）20～29歳（6位）※（）H30年～R3年合計順位〕

・～19歳、20～29歳とも学業不振が最も多く、次いでその他進路に関する悩みとなっており、令和4年も学業不振が最も多い。

H30年～R3年合計				R4年			
	～19歳	20～29歳	全世代		～19歳	20～29歳	全世代
入試に関する悩み			15	入試に関する悩み			4
その他進路に関する悩み	21	20	41	進路に関する悩み	6	6	12
学業不振	29	27	57	学業不振	8	8	16
教師との人間関係				教師との人間関係			
いじめ				いじめ			
その他学友との不和	7	4	11	学友との不和			6
				性別による差別	0	0	0
その他			14	その他	3	0	3

【学生・生徒等の推移】

- ・学生・生徒等の自殺者数は、令和元年大きく増加し、その後も微増傾向となっている。
- ・平成30年と令和4年を比較すると、小中高生は横ばい、高校生以上は増加しており、特に高校生は3倍以上となっている。

	小中校生	高校生	大学生	専修学校生等	合計
H30	10	8	21	5	44
R1	10	16	38	5	69
R2	9	26	21	15	71
R3	13	17	34	11	75
R4	10	27	30	9	76

